

平成28年度事務事業評価表【評価版】の見方

おもて面

事務事業評価表【評価版】（平成28年度実績）

【 554】

事業名：行政評価・外部評価推進事業

政策推進課 参事（総合計画・総合戦略）

★事務事業の担当
所属名を表示

★政策・施策・基本事業
第6次江別市総合計画の
施策体系を表示

政 策	09 計画推進		戦略	
取 組 の 基 本 方 針	01 自主・自立の市政運営の推進		プロジェクト	
			プログラム	
開始年度	平成16年度	終了年度	—	補助金の性格

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・市職員

★対象
事務事業の対象となる物・人などを記載

★補助金
補助金等を支出
している場合、
その性格を記載

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・評価調書の作成など、事務事業を基礎とする行政評価を行う。
- ・行政評価にかかる指標把握等のため、市民アンケート調査を実施する。
- ・行政評価にかかる職員の技能向上を目的として、庁内説明会や研修会を開催する。
- ・市民公募委員を含む行政評価外部評価委員会を開催し、市が自ら行い、その結果を公表する。

★手段
この事務事業の具体的な手段・手法を記載
補助金等を支出している場合、その根拠等を記載

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・行政評価の手法を用いて、PDCAサイクルによる総合計画の推進が図られる。
- ・外部評価の実施により、職員のスキルアップが図られる。

★意図
この事務事業によって対象を
どのようにするのかを記載

年度別の各指標の推移を表示
※「—」と記載しているものは、
指標の変更等があったことを
示しています。

指標・事業費の推移

区分		単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度当初
対象指標 1	市職員数	人	1,151	1,158	1,160	1,160
対象指標 2	市民数		120,335	119,587	119,250	119,250
活動指標 1	行政評価説明会等開催回数		15	1	2	2
活動指標 2	外部評価委員会開催回数		0	5	6	8
成果指標 1	まちづくり政策にかかる成果指標の達成率		47.3	54.2	64.9	100
成果指標 2	計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	89.5	90.4	92.3	100.0
事業費 (A)		千円	3,704	2,446	2,824	3,076
正職員人件費 (B)		千円	7,813	5,497	11,505	9,181
総事業費 (A+B)		千円	11,517	7,943	14,329	12,257

★対象指標
★活動指標
★成果指標
対象・手段・意図
を測る具体的な
指標名を表示

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	まちづくり市民アンケート、転入者アンケートの実施（5月） 庁内研修会の開催 行政評価	市民アンケート実施経費 2,534千円 庁内研修会開催経費 11千円 行政評価外部評価委員会開催経費 270千円

★事業内容・費用内訳
評価対象年度の具体的な取組内容と、
それにかかった主な費用の内訳を記載
※主なもののみ記載しているため、
合計金額が上の事業費計（A+B）と
一致しない場合があります。

★事業費・正職員人件費
年度別の事業費を記載
人件費は、各事務事業に
要する正職員の人件費を
一人当たり単価から計算
して表示

平成28年度事務事業評価表【評価版】の見方

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景

平成16年度を始期とした第5次総合計画の策定に伴い、PDSサイクルによる行政評価の手法を取り入れとした統一的な視点で行政の検証・見直しを行うシステムとして導入した。

★事業開始背景
この事務事業が開始された時点で特徴的な事象があれば記載

事業を取り巻く環境変化

平成26年度からの第6次総合計画「えべつ未来づくりビジョン」からは、行政評価をベースとしたマネジメントサイクルをPDSサイクルからPDCAサイクルへ見直しを行い、総合計画の継続的な向上を

★事業を取り巻く環境変化
この事務事業が立案された当時などと比較し、社会情勢や時代の変化によって事業を取り巻く環境が変化したことを記載

平成28年度の実績による担当課の評価（平成29年度7月）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあつた

妥当である

妥当性が低い

★評価（1）
この事務事業が税金を使って行政が行うことが適切かどうかを評価する項目

第6次江別市総合計画は、「江別市が目指すまちの姿」とそれを実現する方向性を示す「えべつまちづくり未来構想」と、これを重点的・集中的に推進する「えべつ未来戦略」からなる、市の最上位計画である。第6次江別市総合計画における目標を達成するために進行管理的とするもので、市の役割に合うものである。

(2) 上位計画等（総合計画）の進捗に貢献している

大きいですか？（上位貢献度）

貢献度 大きい

貢献度 ふつう

貢献度 小さい

基礎的事務事業

★評価（2）
この事務事業が属する総合計画体系上の基本方針、個別計画の達成に貢献しているかどうかを評価する項目

第6次江別市総合計画が、PDCAサイクルによる行政評価の手法を用いて行うこととしており、総合計画の進行管理のために実施度は大きい。

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？（成果動向及び原因分析）

上がっている

どちらかといえば上がっている

上がっていない

★評価（3）
この事業の成果が計画どおり上がっているかどうかを評価する項目

第6次江別市総合計画は、平成26年度から10年間の計画年度であり、平成28年度は計画3年目の実績となる。計画全体の推進状況から成果を検証するに、計画どおりであるものの、成果指標の達成割合は増加している。

(4) 成果が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？（成果向上余地）

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

★評価（4）
この事務事業の成果が現状よりも向上する可能性があるかどうかを評価する項目

行政評価の手法により施策や事務事業の継続的な改善を図ることで、成果向上のほか、外部評価の視点を取り入れることでの評価の信頼性やより評価の質を高めていくことで、より一層の成果向上が期待される。

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？（効率性）

ある

なし

★評価（5）
この事務事業の成果を落とさずさらに効率的にコスト削減して事業を実施する方法があるかを評価する項目

本事業は、行政評価及び外部評価を実施する上で必要最低限度の内容にて実施しているため、これ以上のコスト削減は成果の低下につながる。